

カメラが捉えた2023年の観光業界



▲「ツーリズムEXPOジャパン2023」が10月26～29日、大阪市のインテックス大阪で開催された。19年以来4年ぶり。4日間で延べ14万8000人が来場。旅行需要の盛り上がりを感じさせた（11月6日付）



▲大型観光企画「北陸デスティネーションキャンペーン（D.C）」開催に向けた全国宣伝販売促進会議が11月8日、福井市で開催された。来年3月16日の北陸新幹線金沢～敦賀開業効果をより確かなものにしようと、来年10～12月に実施する。五つの美をテーマに、北陸3県の魅力を発信する（11月20日付）



▲7月4日付で観光庁長官に高橋一郎氏が就任。就任後初の専門紙との記者会見では、観光産業が抱える生産性の低さ、人手不足などの課題解決に注力するなど語った（8月1日付）

▼全旅連青年部と女性経営者の会（J K K）が4月、新しいトップのもと、新体制をスタート。青年部長は塚島英太氏（ホテル長崎）、J K K会長は高橋美江氏（益子館里山リゾートホテル）が就任した（5月1日付）



▶東北の被災地域の自治体や国、旅行事業者など83団体でつくる官民連携組織「東北復興ツーリズム推進ネットワーク」が7月25日発足した。旅行商品の造成促進や、体験プログラムの充実を図り、誘客に取り組む（8月7日付）



▲J T Bは9月5日から、宇宙遊覧用気密キャビンを本社ビル内に展示、公開。気球で宇宙の入り口まで上昇し、宇宙を眺められるという。来年3月末まで展示予定（10月2日付）



▲観光庁とJ A T Aは5月10日、海外旅行に出掛けるようPRする「今こそ海外宣言」を共同で発表。国が前面に出て国民に海外旅行を呼び掛けるのは1980年代後半の「テンミリオン計画」以来となる（5月22日付）

▼J T B・近畿日本ツーリスト・日本旅行3社の協定旅館ホテル連盟がタッグを組み、島根・鳥取両県への誘客を目的にキャンペーンを実施＝2月18日、広島県府中町でのイベント（3月6日付）



▲温泉協会、旅館協会、全旅連が発起人となり4月24日、温泉文化のユネスコ無形文化遺産登録を目指す全国推進協議会が設立された（5月1日付）



▼2027年国際園芸博覧会協会は9月10日、女優の芦田愛菜さんを公式アンバサダーに起用すると発表。愛菜さんは「1都3県で初の博覧会。今からとてもワクワクしている」と語った（10月2日付）



▲関西観光本部は3月23日、大阪・関西万博に向け、広域観光を推進する組織「EXPO2025 関西観光推進協議会」を設立した（4月10日付）



▲「東北絆まつり」が6月17、18日、青森市内で開催された。制限のない開催は4年ぶり、会場は熱気に包まれた。2024年は仙台市で開催される（6月26日付）



▲北海道は9月4日、7月に創設した「北海道アドベンチャートラベルガイド（北海道A Tガイド）」認定制度による第1弾の認定取得者11人を発表、認定証交付式を行った（9月11日付）



▼西日本の4広域連携DMOが5月9日、連携協定を締結。大阪・関西万博を見据え、「Greater WEST JAPAN」として、西日本一体での広域周遊観光に取り組む（5月22日付）



▲「鉄旅オプザイヤー」の授賞式が4月10日、さいたま市の鉄道博物館で行われた。グランプリは鉄道開業150周年を記念した日本旅行とJ Rグループの列島周遊の旅に（5月1日付）